

(3面から続く)

【質 問】ICTを活用した豊かな学びの実現をめざし、区全体で全力を尽くすべき。構想に対する教育長の決意は、



学習用端末を使用した授業の様子

【教育長】ICT環境の整備により、学力の定着だけでなく、教員の働き方改革への効果も期待される。構想実現に向けて区長部局とも情報共有を図りながら取り組む。

【質 問】1日も早い不登校対策として、不登校児童・生徒が安心して過ごせる居場所を各校に設定すべき。見解は。 【教育長】保健室以外に居場所を設けることが効果的と認識。教室の確保や人材配置に課題はあるが、各中学校への居場所設置に向け検討する。

水害対策について問う

【質 問】水害リスクの高い新河岸地域は、高齢者が多く不安と課題がある。区は水害対策や避難行動の講習会実施などの支援をすべき。見解は。 【区 長】同様にリスクの高い舟渡地域でのノウハウを活用し、講習会やワークショップの実施を働きかけていく。

【質 問】地域の都営住宅は、水害時に垂直避難できる場所として有効。空き部屋などの利用について都営住宅などと協定を結ぶべき。見解は。 【区 長】緊急的な措置として、

て、垂直避難も必要と認識。都営住宅などの高層建築物との避難協定も含め、区民が安心できる方策を検討する。

環境問題について問う

【質 問】気候非常事態宣言は、温暖化による異常気象のリスクについて広く警鐘を鳴らし、住民や周囲の問題意識を高め、国や自治体の具体的取組みの推進につながる。区も早急に宣言すべきでは。 【区 長】対策に取り組む決意を示す気候非常事態宣言も視野に入れ、宣言に見合った施策を打ち出せるよう地球温暖化対策実行計画(区域施策編)2025の策定を進める。

【質 問】2年度から実施する地域センターのフードドライブにおいて、子ども食堂との連携はどう行うのか。 【区 長】地域センターで食品の寄付を受け付け、一覧を子ども食堂にメールで通知。社会福祉協議会の「子どもの居場所づくり活動支援事業」を活用して食品を提供する。

【質 問】都は一人暮らしの高齢者などを対象に、交流や地域活性化につながる、おとな食堂を設置する。区もおとな食堂との連携を視野に入れた取組みを。見解は。 【区 長】都では、都営住宅の交流スペースなどを活用して、年齢を問わず食事をしながら交流できる場を設ける。食品ロス削減の観点からも、おとな食堂との連携も視野に入れていく。

女性の活躍を求めて

【質 問】女性活躍には、出産、育児、介護への支援が重要。休暇からの復職後、仕事と家庭を両立しながら活躍でき、制度の利用により昇任の



竹内 愛 (共産党)

予算編成方針について問う

【質 問】公共サービス基本法では、外部委託について適正な労働条件の確保や労働環境の整備を求めている。区が委託や民営化を行った事業について、そこで働く人たちが公務労働を担うにふさわしい処遇となっていると考えるか。 【区 長】事業者と委託契約を締結する際に労働関係法令の遵守を求めている。処遇については適切な配慮がなされているものと考えている。また、民営化した保育園に対しては、区が指導検査を実施し、労働条件などの確認を行っている。

【質 問】区は待機児童対策として、民間保育施設の増設を進めてきたが、園数の増加に伴い、保育の質をどう守るかが課題である。民間保育施設の保育士の処遇について、区立保育園の保育士と同等水準となっているか。見解は。 【区 長】例年、国家公務員給与の改定に準じた処遇改善が公定価格に反映されている。必ずしも区立と同様であることと前提としたものではないが、今後も国や都の補助事業を活用し、処遇改善に努める。

「笑い」の提供を求めて

【質 問】区内大学の落語研究会・お笑いサークルの活躍の場の提供を兼ね、出前寄席などの「ロビー漫才」を行い、区民に心身に健康効果のある笑いを提供しては。 【区 長】区内の若手による板橋落語会や、小学校や高齢者施設での出前寄席などにより、笑いの提供に努めている。ロビーにおける落語・漫才の提供や大学連携も視野に入れながら、事業の充実を図る。

※以上のほか、高齢者支援、産業について質問があった

増となつている。介護給付費準備基金を最大限に活用し、保険料を引き上げないよう求めるが見解は。 【区 長】高齢者人口は今後増加することが想定され、介護給付費などの増加が見込まれることから、引き上げしないことは困難と考える。

【質 問】SDGsを推進する板橋区において、今現在、誰が取り残されていると考えるか。見解は。 【区 長】SDGsで述べられている「誰一人取り残さない」という言葉は、ベースラインの底上げを進めることと認識している。区の民生費は23区でも最も高い水準にあり、すべての区民の福祉向上に寄与している。

【質 問】介護保険制度が始まってから20年間で、介護保険料の基準額は約2倍の負担増となつている。介護給付費準備基金を最大限に活用し、保険料を引き上げないよう求めるが見解は。 【区 長】高齢者人口は今後増加することが想定され、介護給付費などの増加が見込まれることから、引き上げないことは困難と考える。

誰一人取り残さない社会の実現をめざして

【質 問】SDGsを推進する板橋区において、今現在、誰が取り残されていると考えるか。見解は。 【区 長】SDGsで述べられている「誰一人取り残さない」という言葉は、ベースラインの底上げを進めることと認識している。区の民生費は23区でも最も高い水準にあり、すべての区民の福祉向上に寄与している。

【質 問】介護保険制度が始まってから20年間で、介護保険料の基準額は約2倍の負担増となつている。介護給付費準備基金を最大限に活用し、保険料を引き上げないよう求めるが見解は。 【区 長】高齢者人口は今後増加することが想定され、介護給付費などの増加が見込まれることから、引き上げないことは困難と考える。

アできる状況ではないため、変形労働時間制を導入すべきではないと考えるが見解は。 【教育長】制度導入の前提として業務量の縮減や校務改善がなされることが重要と考える。各学校の教員の勤務実態に留意し、教員の意見が十分に反映される運用が重要と考える。

【質 問】区立幼稚園、小・中学校の一斉休校について、環境を整えたい一方で、休校期間の短縮を求めているが見解は。 【教育長】今回の一斉休校は、感染リスクに予め備える観点から、全国的に臨時休業するとの国の方針によるものである。現段階においては、一斉休校について期間の短縮を検討できる状況にはない。

【質 問】区立幼稚園、小・中学校の一斉休校について、環境を整えたい一方で、休校期間の短縮を求めているが見解は。 【教育長】今回の一斉休校は、感染リスクに予め備える観点から、全国的に臨時休業するとの国の方針によるものである。現段階においては、一斉休校について期間の短縮を検討できる状況にはない。

教育について問う

【質 問】中1ギャップについての文科省の調査では、中学の不登校生徒の多くが、小学4年生から6年生の間に登校や登校渋りの傾向があったと報告されている。研究結果への認識と、区はどのような実証を用いて小中一貫教育の有効性を導き出したのか。 【教育長】様々な研究があることは認識している。中学校への進学に際して、生徒が体験する段差に配慮し、より円滑な接続を行うため、小・中学校間での柔軟な教育課程の編成や学習指導の工夫を行う観点から、小中一貫教育に取り組むこととした。

【質 問】文科省は変形労働時間制導入の前提として、教員の時間外の勤務時間について、月45時間以内、年360時間以内という条件を示している。区はこうした条件をクリアできる状況ではないため、変形労働時間制を導入すべきではないと考えるが見解は。 【教育長】制度導入の前提として業務量の縮減や校務改善がなされることが重要と考える。各学校の教員の勤務実態に留意し、教員の意見が十分に反映される運用が重要と考える。

【質 問】区の計画では、一時保護所における学習保障について、正規・常勤での人材配置が盛り込まれていない。また、児童福祉司1人あたりの担当件数は40件ほどになると聞いており、世界標準より多い。現在の人材確保計画を見直すべきと考えるが見解は。 【質 問】区の計画では、一時保護所における学習保障について、正規・常勤での人材配置が盛り込まれていない。また、児童福祉司1人あたりの担当件数は40件ほどになると聞いており、世界標準より多い。現在の人材確保計画を見直すべきと考えるが見解は。

【質 問】区の計画では、一時保護所における学習保障について、正規・常勤での人材配置が盛り込まれていない。また、児童福祉司1人あたりの担当件数は40件ほどになると聞いており、世界標準より多い。現在の人材確保計画を見直すべきと考えるが見解は。 【質 問】区の計画では、一時保護所における学習保障について、正規・常勤での人材配置が盛り込まれていない。また、児童福祉司1人あたりの担当件数は40件ほどになると聞いており、世界標準より多い。現在の人材確保計画を見直すべきと考えるが見解は。

【質 問】区の計画では、一時保護所における学習保障について、正規・常勤での人材配置が盛り込まれていない。また、児童福祉司1人あたりの担当件数は40件ほどになると聞いており、世界標準より多い。現在の人材確保計画を見直すべきと考えるが見解は。 【質 問】区の計画では、一時保護所における学習保障について、正規・常勤での人材配置が盛り込まれていない。また、児童福祉司1人あたりの担当件数は40件ほどになると聞いており、世界標準より多い。現在の人材確保計画を見直すべきと考えるが見解は。



(仮称)子ども家庭総合支援センターのイメージ

【区 長】区の人員体制は児童福祉司の配置が核となるため、国が示した計画を反映し児童福祉司の増員を計画したところである。また、一時保護ガイドラインに則り、子どもの状況や特性、学力に配慮した学習支援を実施する体制整備を図っていく。

【質 問】地域の子育て支援拠点として、子ども家庭支援センターを複数設置することを目指すが見解は。 【区 長】(仮称)子ども家庭総合支援センターの設置に向け、子どもに関わる様々な業

国による不合理な税制改正の是正を求めて 【質 問】地方法人課税の一部国税化をはじめとする国の不合理な税制改正により、特別区の貴重な税源が奪われている。区長が音頭を取り、特別区長会から内閣総理大臣に自治体軽視の税制を改めるよう直接要望すべき。見解は。 【区 長】特別区長会では、毎年国に要望書を提出している。国の責任において実現すべき事柄に対しては、今後も強く要望していくよう区長会の先頭に立って行動していく。

【質 問】元年度10月の決算総括質問で有償ボランティアによる避難支援制度の創設などの具体的な対策の検討を提案したが、その後の進捗は。 【区 長】台風19号の経験をも踏まえ、要支援者名簿の水害時の運用方法について検討を進めており、次期水期までに方向性を示していく。

【質 問】元年度10月の決算総括質問で有償ボランティアによる避難支援制度の創設などの具体的な対策の検討を提案したが、その後の進捗は。 【区 長】台風19号の経験をも踏まえ、要支援者名簿の水害時の運用方法について検討を進めており、次期水期までに方向性を示していく。

コミュニティバス新路線の検討を求めて

【質 問】区南部地域の交通不便を解消するため、コミュニティバスの新路線の検討を進めるべき。区の見解は。 【教育長】元年度から導入している在校時間管理システムにより把握・分析した状況をもとに活用している。あわせて各校における校務改善の好事例を共有し、具体的な取組みを推進することで、長時間労働の改善に努めていく。

【質 問】元年度10月の決算総括質問で有償ボランティアによる避難支援制度の創設などの具体的な対策の検討を提案したが、その後の進捗は。 【区 長】台風19号の経験をも踏まえ、要支援者名簿の水害時の運用方法について検討を進めており、次期水期までに方向性を示していく。

中妻じょうた (民主クラブ) 【区 長】今後の需要や道路環境の整備など地域内の変化を見据えながら検討を行っていく。

【区 長】今後の需要や道路環境の整備など地域内の変化を見据えながら検討を行っていく。

【区 長】今後の需要や道路環境の整備など地域内の変化を見据えながら検討を行っていく。

発達障がい者支援センターを問う

【質 問】子ども発達支援センターと情報共有を密にして相乗効果を高め、切れ目のない支援を行うべきと考えるが、区の見解は。 【区 長】情報共有はもとより、相互の機能がより効果的・効率的に発揮されるよう連携体制を構築していく。

【質 問】元年度10月の決算総括質問で有償ボランティアによる避難支援制度の創設などの具体的な対策の検討を提案したが、その後の進捗は。 【区 長】台風19号の経験をも踏まえ、要支援者名簿の水害時の運用方法について検討を進めており、次期水期までに方向性を示していく。



区内を走るコミュニティバス